

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人ぐらすかわさき</p>
<p>取組の名称</p>	<p>学びと夕食の「ひろば寺子屋」</p>
<p>実施場所</p>	<p>地域のたまりば「遊友ひろば」 （当法人が運営するキッチン付きフリースペース）</p>
<p>対象地域</p>	<p>川崎市多摩区およびその周辺</p>
<p>対象地域の 特色・課題</p>	<p>保育園と共働き家庭の急増や子育て世帯の格差が、子どもの放課後に多大な格差を生んでいます。高額な学童保育や塾、習い事に通う子の一方で、お金のかからない場所でゲームに時間を費やす子ども、保護者の帰宅が遅く、栄養の偏りや孤食傾向の強い子どもが見られます。</p>
<p>取組の趣旨・目的</p>	<p>共働き世帯や、一般の学習塾を諦めている家庭、不登校など様々な境遇の子どもたちが、バランスの取れた夕食を共に楽しみ、算数・数学・英語を中心として基礎学力の定着を図る学びの場、学校生活などでのちょっとした困りごと、喜びをすくいとれる場を非営利・低料金で提供する仕組みをつくり、地域の子どもたちの健全な育成を図ります。</p>
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>算数・数学・英語を中心とした学びの場。 個別の問題演習や質問対応および食事提供を実施。 時間割：★中学生の部活が制限されたので小学生と同じ 小学生①17:00~17:50(算数)②17:55~18:45（算数など）③18:50~19:10(軽食) 中学生 ④17:00~17:50（数学）⑤17:55~18:45（英語）⑥18:50~19:10（(軽食)部活の関係でこの通りできないお子さん(18時半開始)には別途対応。 参加費：1コマ（50分）500円（食事代込み）</p>

	区画整理事業のため、8月以降は「遊友ひろば」が使えなくなり、近隣のKFJ多摩すかいきっずと新川町会会館をお借りして実施。全学年の時間を統一して、18:00～18:50（1科目め）、18:50～19:10（食事）、19:10～20:00（2科目め）とした。参加費は同額。		
参加者の年代	小・中学生・高校生	定員 （1回あたり）	1コマ当たり 4名
実施頻度	週1日程度	活動日数 （年間）	51 日
スタッフ体制	講師 地域の教員OB…3名、専修大学KSソーシャルビジネスアカデミー（地域活動について学ぶ講座）の修了生、近隣大学生、教員資格取得者（休職中） 調理 近所の料理・こども好きなボランティア		
連携する団体・ 連携の手法	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会（ボランティア募集や食料の寄付） ●多摩図書館・KFJ多摩すかいきっず（チラシ配架） ●多摩区役所見守り支援センター保健士（孤食など地域で問題を抱えているお子さんへの情報提供） ●まなてら運営委員会…応援スタッフの派遣 ●子ども食堂ネットワーク…食材・消毒液提供受け入れ 食事提供においての注意など学習会 		
取組実施により 見込まれた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹による子どもの集中力低下を防止できた。 ・皆で食事をすることで孤食が防止できた。 ・調理ボランティアの方のお話を通して食育ができた。 ・食事前のテーブル拭きや寺子屋後の部屋の掃除などでコロナ対策としての消毒の仕方など身につけた。 ・個別に苦手なところを繰り返すことにより、定期テストの点数や成績が向上した。 ・勉強嫌いの子もしりとりやじゃんけんを用いてゲーム感覚で少しでも学習意欲が高まるようにし、寺子屋には来る習慣がついた。 ・講師や調理に携わる方の生きがいづくり、健康長寿の地域づくり、子どもの成長を多世代で見守る地域づくり。 ・様々な境遇の子どもと大人が食事を囲む居場所づくり。 		

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・共働き世帯、子どもの家庭学習支援や夕飯の準備に十分な時間を割けない家庭への放課後支援と食事提供を軸として地域で子どもを支えていく取組のモデル創出。・規則正しい生活をはじめとした良い生活習慣、勉強方法の確立。・悩みを吐き出すことによる精神的安定。感染拡大防止のため食事中は会話厳禁だったが、休み時間や掃除時間などを使って傾聴した。迎えに来る親御さんの愚痴を吐き出してもらえる場にもなった。・適宜提供するお楽しみ軽食（誕生日、ひな祭りや端午の節句、クリスマスなど）では、楽しみができメリハリがあった。 |
|--|--|